

報道関係 各位

2025 年 11 月 27 日
カバヤ食品株式会社

カバヤ食品『塩分チャージ』パッケージサイズを見直し ～ パッケージ材質も変更することでCO₂排出量を約31%削減 ～

カバヤ食品株式会社は、環境負荷低減の取り組みの一環として、主力ブランド『塩分チャージタブレット』(以下、『塩分チャージ』)の製品パッケージサイズの見直しとパッケージ材質を変更しますので、お知らせします。これに伴い、CO₂排出量を削減します。

当社では、企業の社会的責任における環境保全の取り組みとして、製品の賞味期限延長に伴う食品ロス削減や、包装資材の継続的な見直しなど、さまざまな環境負荷低減に取り組んでいます。

そのひとつとして、2026年3月から販売予定の『塩分チャージ』では、内容量はそのままに、製品パッケージサイズを縮小、さらに製造時のCO₂排出量が多いアルミ箔から、環境に配慮したアルミ蒸着フィルム^{※1}へとパッケージ(バリア層^{※2})の材質を変更します。これにより、包材の原材料調達から製造および輸送^{※3}までにかかるCO₂排出量を約31%削減^{※4}(納入包材あたり、現行品比)します。

※1：表面に極めて薄いアルミニウム膜を形成したフィルムのこと

※2：酸素や水素などを通しにくくする保護層のこと

※3：ここで言う「輸送」は包材工場から当社岡山工場への包材輸送を指します

※4：大日本印刷株式会社(DNP)調べ。

SuMPO CFP包括算定制度で認証された「DNPライフサイクルCO₂認証システム CCS-21-000-01」にて算定

	現行品	変更後
		
	高さ 20mm 縮小	
		
	マチ 5mm 縮小	
パッケージサイズ	横幅140×マチ40×高さ205mm	横幅140×マチ35×高さ185mm
パッケージ(バリア層)材質	アルミ箔	アルミ蒸着フィルム

当社は、今後も環境負荷低減の取り組みを着実に推進することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。